

大和電機工業

初代リーグ王者へ意欲



日本女子ソフトボールリーグ

4日から1〜4位決定戦

日本女子ソフトボールリーグの順位決定節は4〜6日に茨城県小美玉市の希望ヶ丘公園グラウンドで行われ、大和電機工業(下諏訪町)が1〜4位決定戦に臨む。今年度の再編で一新されたリーグの初代王者を目指し、チームは一丸で士気を高めている。(杉本哲也)

練習時に円陣を組み、車主将(右から4人目)を中心に士気を高める大和電機工業の選手たち

チーム力底上げ 総力戦に自信

日本女子リーグには今季12チームが参加。プラチナ、サファイアの2セクションに分かれて順位を競い、大和電機工業はプラチナセクション9勝4敗(うち2敗は不戦敗)で2位だった。西セクション2位までの計4チームで争う1〜4位決定戦はまず総当たりの予選リーグを行い、1、2位が決勝、3、4位が3位決定戦に回る。

1〜4位決定戦に進出したのは大和電機工業のほかプラチナセクションを制したモリオールウェーブカノヤ(鹿児島)とサファイアセクション1位の静岡(静岡)、同2位のシトリンイチノミヤ(愛知)。大和電機工業の杉野公英監督は「4チームとも実力は拮抗。この試合も大差はつかない」とみる。

接戦を勝ち切る鍵は、投手を軸にいかに関点を減らせるかだ。今季プラチナセクションで防御率1位(0.91)のエース大串都未希は「任されたイニングを絶対に抑えたい」と自覚十分。攻撃はリーグ戦5割2分8厘でセクション首位打者の新海雪奈らに期待がかかる。

今季の大和電機工業は昨季からメンバーが大幅に入れ替わり、平均年齢21歳の若い布陣でスタート。開幕当初こそ粗さも目立ったが、実戦を重ねる中で連係が磨かれてきた。所属19選手全員が公式戦を経験したことチーム力も底上げされ、「今が一番いい状態。総力戦で勝ちにいける」と指揮官。コーチ兼任の車重紀子主将は「初代リーグチャンピオンになるチャンスは今年だけ。そのためのチーム力は備わっている」と自信を示す。